

様式 8

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「綾瀬川と大曽根ビオトープの再生」

助成番号：2021-6111-016

特定非営利活動法人エコロジー夢企画
理事長 三井 元子

2021 年度

1. はじめに

みんなの見守りで美しい綾瀬川を取り戻して、より多くの生物と出会い、生物多様性の中に生きていることの素晴らしさを感じることも達を増やしていきたい。との理由から八潮市大曽根ビオトープのかいぼり（滞筋づくり）を市民参加で行いました。

2021年11月3日（水・祝）に行われた綾瀬川「大曽根ビオトープのかいぼり隊」はNPO法人エコロジー夢企画、大曽根の湿地ビオトープを守る会が中心になって、国土交通省江戸川河川事務所、八潮市環境リサイクル課、認定NPO法人生態工房、NPO法人オリザネットと一般参加の皆様69名で実施することができました。

2001年に下流側のかわせみ池が完成した時には、中学生たちが思わず泳いでしまったほどきれいだった池が、今は堆積物に苦しんでいます。綾瀬川を植物や微生物によって浄化させるために国に買い取ってもらった湿地がいま悲鳴を上げています。今年の「みお筋づくり」活動は、その解決の第一歩でした。

なぜ大曽根ビオトープができたのかわからないという行政職員が増えてきたことから、ツイン事業として誕生した八潮市大曽根ビオトープと足立区桑袋ビオトープ公園完成の経緯を記した報告書も作ることができました。



(図ー1 大曽根ビオトープ)

2. 活動内容

2-1. 4月20日(火)現地状況を確認・打ち合わせ

大曽根の湿地ビオトープを守る会(以降守る会)、エコロジー夢企画(以降エコ夢)、生態工房、江戸川河川事務所調査課2人、八潮市リサイクル環境課2人参加

◎普段から干満の差で川底を日干しできるようにした方が良く、皆で魚道の角落しを取り外した。



(2-1 打合せ)

2-2. 5月16日(日) 守る会の定例活動にエコロジー夢企画から1名参加

2-3. 7月25日(日) 守る会主催の「しがらみ柵作り」(池に土砂が入ることを防ぐ柵)

中学生ボランティア4名と共に行った。生態系工房の片岡さんの指導でエコ夢から4名参加し、計22名で実施。中学生もハンマーの振り方や鉋の使い方を覚えて楽しそうだった。



(2-3 しらが柵作り)

2-4. 8月22日(日) 合同打ち合わせ会議

事前学習会と本番の作業工程を相談し、決定した。
守る会、エコ夢、生態工房 計 11 名参加。

2-5. 8 月 30 日(月) 八潮市後援承認される。八潮市・足立区でチラシ配布開始。
江戸川河川事務所は「協力」団体として名義使用を承認。

2-6. 9 月 20 日(月・祝)事前学習会「かいぼりってなぜやるの？」(座学)
大曽根の湿地ビオトープを守る会、エコロジー夢企画、生態工房、
江戸川河川事務所調査課1人、八潮市リサイクル環境課 2 人、計 35 名
◎生態工房 片岡友美氏の講演 「かいぼりってなぜやるの？」でイメージが膨らむ。
当日の工程説明を行い共有した。



(2-6. 事前学習会)

2-7. 11 月 2 日(火) 前日準備。プレかいぼり
スタッフ・バイト 10 名で滞筋づくりを試行し本番の準備をした。
◎干満の差によって1日に2回川の水の出入りがあるので、その流れを利用できるようにかいぼりというよりは、みお筋づくりを目指すこととなった。



(2-7. 前日プレかいぼり)

2-8. 11月3日(水・祝)「エコ夢かいぼり隊」イベント 一般参加者と滞筋づくりをする。

- ①みお筋づくりチームとところどころマシーンチームに分かれて、池の中にみお筋を作り水の流れを良くする。泥を掻き出す。水生生物を捕獲する。
- ②魚の展示と解説: 前日仕掛け網をしていったところ大きなうなぎが2尾とエビなどがかかっていた。当日は四手網で捕獲したり、滞筋づくり最中に捕獲したりした水生生物を展示して、魚講師に解説してもらった。
- ③パネル展示: 参加団体の活動を紹介するパネル展示を行った。
- ④カヌーでゴミ拾いを行い、ゴミを回収した。

大曽根ビオトープ かいぼり隊 募集

11月3日(水・祝) 9:00~12:30



かわせみ池
とんぼ池
せせらぎ池

ビオトープとは
生き物が生き続けられる空間

事前学習会のお知らせ

「かいぼりってなぜやるの?」 60名募集
9月20日(月・祝)14:00~16:00

草加市記念体育館 第1・2学習室(定員120名)
草加市瀬崎6-31-1(桑袋ビオトープ公園近く)
講師: 片岡友美氏(認定NPO法人生態工房代表)



滞筋(Airflow)をつくる(2017年度都立井の頭恩賜公園)

★募集要項は裏面

かいぼりイベントの目的: 堆積した底泥を日常的な干満差で自然排出させ、常時、池底を乾かせるような環境に整える。

具体的には: 長年の泥堆積によってカマ場(水たまり)になってしまった池底に、滞(みだり)筋(水路)を掘り、排水網を整備する。

魚の展示・昆虫調査も行います。★見学自由 ★魚とり大会ではありません

主催: NPO法人エコロジー夢企画・大曽根の湿地ビオトープを守る会
後援: 八潮市 協力: 国土交通省江戸川河川事務所



河川基金

この事業は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

(図-2 かいぼり チラシ)

みお筋づくりチーム（赤の腕章配ります）

池の中を歩いてみず道を作り、泥をかき出しします。

途中お魚を見つけたら捕獲して展示用ブースに届けます。

① 服装：胴長（ウエストでベルトをすること）又は、長靴（はきこみをガムテープで塞ぎます）

② 軍手

③ 長袖：着替え持つこと ★バケツや網は貸し出しします。

ころころマシーンチーム（緑の腕章配ります）

手作りした道具を使って、地上から綱引きをして、みお筋をつけます。

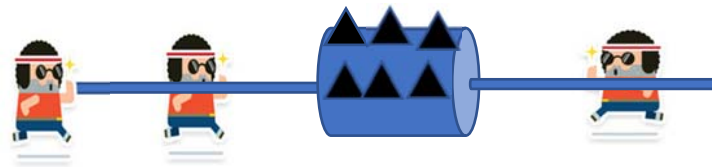
① 長靴またはズック靴（履き替え用靴ももつこと）

② 軍手

③ 長袖・長ズボン

土手からかいぼり見学・魚展示コーナー見学

作業チームが動きやすいように土手上から見学しましょう。



（図-3. 大曾根守る会オリジナル ころころマシーン）

<スケジュール>

8：00 スタッフ集合 受付テント、机、イス・・・エコ夢（水越・梅澤・柴崎）

- ① 魚展示用長机、水槽2つ、エアーポンプ3つ、ファンシーケース等用意
魚採取係・・・エコ夢（戸井田）＋（矢澤）
魚解説係・・・オリザネット（斎藤氏・古谷氏）

- ① かいぼり隊指揮・・・片岡さん、佐藤さん
- ② 水道栓の用意・・・長いホース（戸高）・着替え用テント（エコ夢）
- ③ 記録係：DVD（井坂）、写真（エコ夢大熊・守る会高橋）

8：30 受付開始

- ① 名簿チェック、検温、消毒、マスク
- ② 整列、グループ分け、腕章渡す（注意：ソーシャルディスタンス）
- ③ 服装チェック（胴長にベルト）、ガムテープで長靴はき込みを巻く。

9：00 開会あいさつ・・・司会：水越雅子

- ① エコロジー夢企画理事長・大曾根ビオトープ会長あいさつ
- ② 来賓あいさつ 国土交通省江戸川河川事務所、八潮市リサイクル環境課
- ③ 魚解説チーム紹介：NPO 法人オリザネット（古谷氏・斎藤氏）
- ④ 参加者 グループ紹介・人数が多い場合はカット

9：15 濡筋づくり開始 2チームに分かれて活動開始

- ① 濡筋づくりチーム 指導チーフ：片岡
- ② 「ころころマシーン」チーム 指導チーフ：荻原

11：00 休憩、役割交代したい人は入れ替わって再度、作業開始

見学者向け水槽展示（横土手上）

- ・ビオトープにいる魚や水生生物を水槽展示する。
- ・前日に魚キラ一等を仕掛け、当日朝に回収して生き物を確保する
- ・かいぼりで捕れた生き物も追加する。

12:00 一般参加者は作業終了、手足洗う。着替え

12:15 閉会式

12:30～13:30 昼食休憩（各自用意）

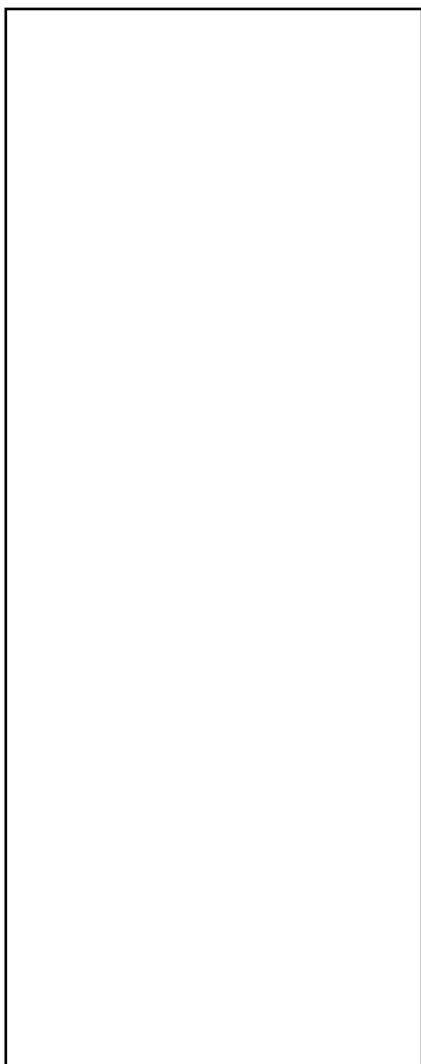
13:30 「関係者」は潮位次第で作業再開 →一般参加希望者は午後も参加可能
洗い物や片付け作業もこの時間内でやる。

15:30 反省会 16:00 解散





(2-8. かいぼり本番 ころころマシンチームとみお筋づくりチーム))



(図-3¥4. 東武さいたま新聞)



ウナギ



モクズガニ



ヌマチチブ



ドブガイ



テナガエビ



スジエビ

2ー9. 11月13日(土)エコ夢2名と守る会1名で昆虫調査を行う。
 ◎10日後のみお筋つくりの成果を確認した。



(2ー8. みお筋ができていた)

2ー10. 11月14日(日)守る会の定例活動の草刈りに11月3日の参加者2名が参加した。

3. 成 果

- ① かい堀というよりは干満の差を利用したみお筋づくりを行って、日常にも堆積物が流れ出ていくように水の道を作る作業に参加者と共に行うことができた。
- ② しがら柵作りは、池のふちの土砂が池に入らないようにする効果をもたらした。
- ③ かいぼり本番から 10 日後に観察したところ、みお筋がはっきり出来ていたので、干満の差による水の出入りが期待できる。投網を掛けた所、ボラが数十匹入ってきていたので、今後の水生生物の動向が楽しみである。
- ④ コロナ禍にも拘らず、**69 名**もが参加して実施できたこと、多くの方に大曽根ビオトープの存在知ってもらうことができた。親子で訪れて自然の中で情操を育んでもらいたい。綾瀬川浄化に努力している市民活動を知ってもらうことができた。泥だらけになりながらも楽しかったらしく、次も参加したいという声が多かった。

5. 活動の効果

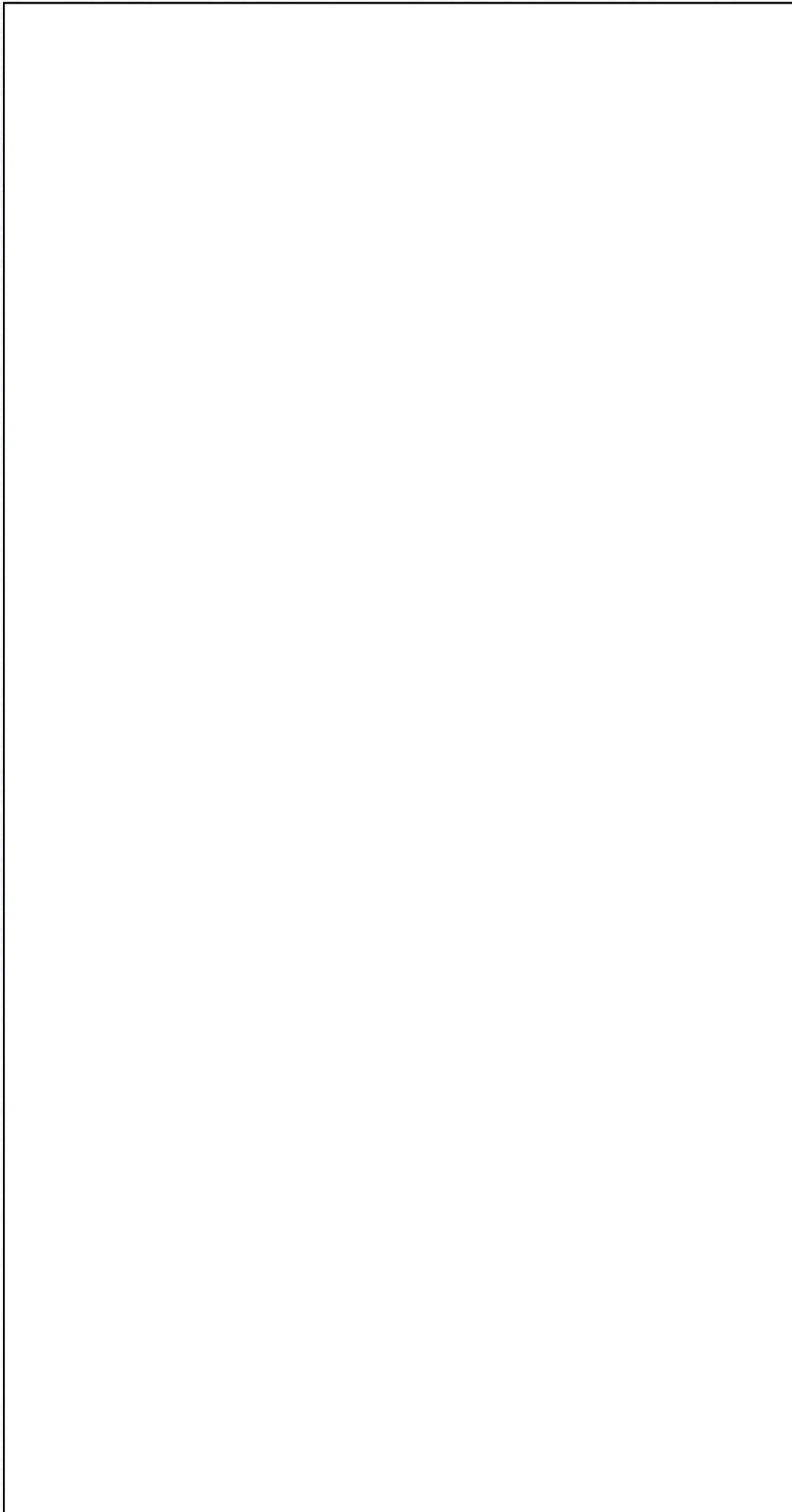
- ① 多くの市民が関心を寄せてくれて、大曽根ビオトープを知ってもらったので、自然地に遊びに来る親子の増加が見込まれる。
- ② 10 日後にはみお筋がはっきりしているのを確認した。しかし、継続してこまめにみお筋づくりを行っていかないとすぐに元に戻ってしまうと思われるので継続していく必要がある。
- ③ 江戸川河川事務所職員は、ずっと泥を吐き出す場所に立ち手伝ってくれたので、現場を良く知ってもらうことができた。魚道の改良なども相談しやすくなった。

〔河川管理者等との連携状況〕

- ① いままで、かいぼりをしたいと江戸川河川事務所や八潮市に相談しても「予算がないのでできない」といっていたが、今回河川財団からの助成が決まったことから、江戸川河川事務所も八潮市も休日であるにもかかわらず積極的に参加し協力してくれた。打ち合わせや当日のかいぼりにも参加した。
八潮市は、胴長やシャベル、軍手、飲み物まで用意してくれて、カヌーで回収したごみも翌日に改修してくれた。当日も池に入って戦力となり活動してくれた。環境部長も見に来ていた。
今後も良好な関係を継続して取り組んでいきたい。
- ② 魚道の高さのせいで、下流の池の水が抜けないのではないかとことを伝えたところ、江戸川河川事務所
の職員が、「今回池に入ってみて様子が分かったので調べてみる」と言ってくれたのは大きな成果であった。

6. 今後の展望

一般市民にかいぼり隊の呼びかけをしたところ、多くの応募があり綾瀬川に関心を持ってもらうことができた。1 m以上の泥の堆積があったが、大勢だからこそ「みお筋」ができた。2022 年度は、下流の池と上流の池をつなげて更に流れを良くしたい。流れが良くなり、魚が子育てできる環境をもう一度整えたい。2005 年ころから始まった再生工事の前の野鳥の種類と数の復活も目指したい。これらの活動を通して綾瀬川に愛着を持つ人を増やし、ごみや汚染水を流すことを防止していきたい。現在もタコノアシは保護しているが、ゴキヅル、ミズアオイなども戻ってほしい。アユやカワセミが生き生きと活動できる環境を流域全体で考えていきたい。



大曽根ビオトープ かいぼり隊 募集

11月3日(水・祝) 9:00~12:30



綾瀬川

かわせみ池

とんぼ池

せせらぎ池

ビオトープとは
生き物が生き続けられる空間

事前学習会のお知らせ

「かいぼりってなぜやるの？」 60名募集
9月20日(月・祝)14:00~16:00

草加市記念体育館 第1・2学習室(定員120名)

草加市瀬崎6-31-1(桑袋ビオトープ公園近く)

講師:片岡友美氏(認定NPO法人生態工房代表)



滞筋(みおすじ)をつける(2017年度都立 井の頭恩賜公園)

★募集要項は裏面

かいぼりイベントの目的: 堆積した底泥を日常的な干満差で自然排出させ、常時、池底を乾かせるような環境に整える。

具体的には: 長年の泥堆積によってカマ場(水たまり)になってしまった池底に、滞(みお)筋(水路)を掘り、排水網を整備する。

魚の展示・昆虫調査も行います。★見学自由 ★魚とり大会ではありません

主催: NPO法人エコロジー夢企画・大曽根の湿地ビオトープを守る会

後援: 八潮市

協力: 国土交通省江戸川河川事務所



河川基金

この事業は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

足立区と八潮市と草加市の県境にある「大曽根ビオトープ」を知っていますか？

1996年に足立区の市民団体「せせらぎグループ」が見つけた1ヘクタールの自然地は、調べてみると企業所有の宅地でした。そこで、1995年までの15年間、汚濁ワースト1を続けていた綾瀬川の浄化対策として、国にここを買い取ってもらいビオトープにすることを提案し、3年後に買取が成功。国と八潮市と足立区行政と市民が話し合って創ったのが「大曽根ビオトープ」です。対岸の足立区「桑袋ビオトープ公園」とツイン事業として国の「地域戦略プラン」と言う補助金で2009年に完成。その後せせらぎグループは、「NPO 法人エコロジー夢企画」としてこの地域の生物調査を続け、親子観察会「エコ夢探検隊」を毎年行ってきました。一方、八潮市には「大曽根の湿地ビオトープを守る会」が誕生し、除草やごみ拾いを行って管理してきました。



(2009年ごろのせせらぎ池)

しかし、完成から10年以上がたち、長年の泥の堆積で池が浅くなり、魚の種類も少なくなっていました。この状況を改善するため、今年ついに2つのグループの念願がかなって、かいぼりを行うことになりました。

都内を中心にかいぼりによる水辺再生に取り組む認定NPO法人生態工房にも協力を頂き、11月3日(月祝)に池底の泥を掻いて掘る「かいぼり」を実施します！

池を再生するためのホンモノのかいぼりを体験してみませんか。

足立区、埼玉県の皆さん、どうか池の再生を手伝いに来てください！

参加申し込み方法 ※小学生は4年生以上、保護者同伴のこと

第一次締切 9月15日

どの地域にお住まいの方も参加できますが、コロナ予防対策及び保険加入のため申し込みが必要です。必要事項を記入の上、FAX 又はメールでご連絡ください。事前学習会は、定員60名ですが、11月3日参加者は優先受付させていただきます。

	件名：9月20日(月・祝) 申込み	件名：11月3日(水・祝) 申込み
氏名	(歳)	(歳)
住所		
連絡先		
電話		
Email		

<9月20日持ち物>

スリッパ・靴を入れる袋、マスクの着用をお願いします。

<11月3日服装・持ち物>

飲み物、長袖・長ズボン、帽子、着替え、長靴、はき替え様の靴、胴長をお持ちの方は胴長、軍手、マスクの着用をお願いします。

草加市記念体育館 ※駐車場はありません

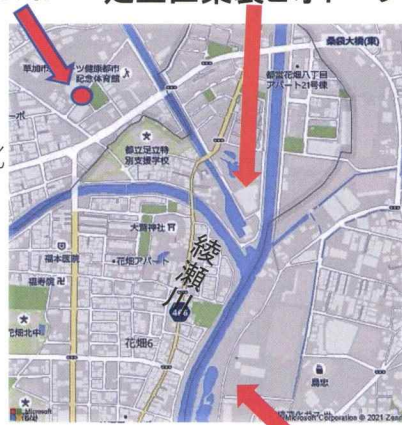
「谷塚駅」東口1番のりばから「花畑桑袋団地」行きの路線で、「草加市記念体育館」バス停

大曽根ビオトープ ※駐車場はありません

千代田線「綾瀬駅」から八潮駅北口行バス「関屋」下車2分

草加市記念体育館

足立区桑袋ビオトープ公園



八潮市大曽根ビオトープ



申込先事務局: NPO 法人エコロジー夢企画

FAX: 03-3886-6554

Email: info@ecoyume.net

<https://www.ecoyume.net>

当日携帯 090-2905-6754

**かいぼり最終
締切
10月24日**

綾瀬川と大曽根ビオトープの再生

—かいぼり隊2021—



河川基金
210196 / 2021-6111-016



NPO法人エコロジー夢企画

この事業は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施しました。



<https://www.ecoyume.net>
Info@ecoyume.net

かいぼり隊

綾瀬川大曽根ビオトープ

11月3日(水・祝)9:00開会 (受付8:30~)

2021年11月3日(水・祝)に行われた
綾瀬川「大曽根ビオトープのかいぼり隊」は
NPO法人エコロジー夢企画、大曽根の湿地ビオトープを守る会が
中心になって、国土交通省江戸川河川事務所、八潮市環境リサイクル課、
認定NPO法人生態工房、NPO法人オリザネットと
一般参加の皆様69名で実施することができました。

2001年に下流側のかわせみ池ができたときには、
中学生たちが思わず泳いでしまったほどきれいだっただけが、
今は堆積物に苦しんでいます。

綾瀬川を植物や微生物によって浄化させるために
国に買い取ってもらった湿地がいま
悲鳴を上げています。

今年の「みお筋づくり」はその解決の第一歩です。

なぜ大曽根ビオトープができたのかわからないという
行政職員が増えてきたことから、ツイン事業として誕生した
八潮市大曽根ビオトープと足立区桑袋ビオトープ公園完成の経緯を記しました。

来年はかわせみ池とつなぐ作業を
皆さんの力を借りて行いたいと思っています。
皆さま、ありがとうございました！



DVD

■YouTube

<綾瀬川大曽根ビオトープのかいぼり隊>

<https://ecoyume.net/2679>



かいぼり隊実施まで

4月20日(火)15:00~ 現地確認

大曽根守る会、エコ夢、生態工房と打ち合わせ

江戸川河川事務所調査課2人、八潮市リサイクル環境課2人参加



- ・顔合わせと現地確認を行って、どのように進めるか相談した。
- ・せせらぎ池魚道の角落しを取り除き、毎日の満ち干で池の底が乾くようにしておくことになった。

5月16日(日)11:30~ 定例活動見学 大曽根守る会の定例活動を見学

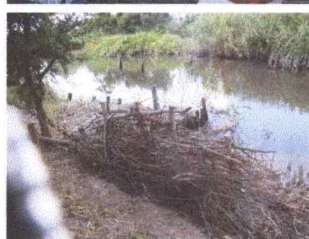
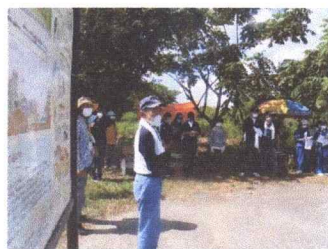
四手網を掛けるとモツゴ稚魚4、マハゼ6、ヌマエビ1



各々がやりたい活動グループに加わって作業する。最後の茶話会が楽しみでと...

7月25日(日)8:30～ 「しがら柵作り」 大曾根守る会主催

中学生ボランティア4名、エコ夢、生態工房 計22名で作業



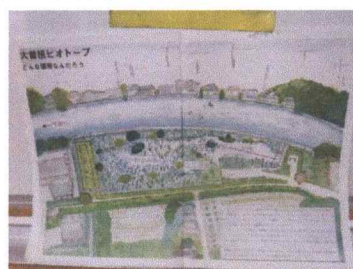
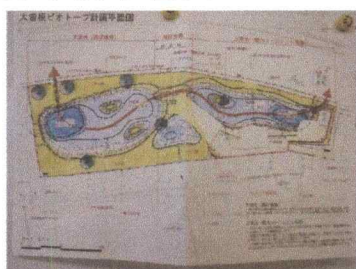
池の周りの土砂が池に入り込まないようにするしがら柵作りに初めて挑戦。生態工房さんの指導も受けて立派に完成した。
中学生は頼りになる！

3/40

8月22日(日)10:30～ 合同打ち合わせ会議

大曾根守る会、エコ夢、生態工房 2名、計11名

< 作業工程、事前学習会について相談し決定 >



- ・広いので、今回はせせらぎ池だけに集中する。
- ・魚道から綾瀬川本流の水が入り、毎日2回の満ち引きがあるので、かいぼりというより、みお筋づくりの作業になるだろう。
- ・9月20日に事前学習会(定員60名)を行う。事前学習を受けた方を優先としてチラシ配布し、かいぼり参加者を募集することとなった。



8月30日(月)～ チラシ配布開始 八潮市教育委員会後援申請(大曾根守る会)

4/40

大曽根ビオトープ
かいぼり隊 募集

11月3日(水・祝) 9:00~12:30



ビオトープとは
生き物が生き続けられる空間

事前学習会のお知らせ
「かいぼりってなぜやるの?」 60名募集
9月20日(月・祝)14:00~16:00

草加市記念体育館 第1・2学習室(定員120名)
草加市瀬崎6-31-1(桑袋ビオトープ公園近く)
講師:片岡友美氏(認定NPO法人生態工房代表)

★募集要項は裏面

かいぼりイベントの目的:堆積した底泥を日常的な干満差で自然排出させ、常時、池底を乾かせるような環境を整える。
具体的には:長年の泥堆積によってカマ場(水たまり)になってしまった池底に、溝(水路)筋(水路)を掘り、排水網を整備する。
魚の展示・昆虫調査も行います。★見学自由 ★魚とり大会ではありません

主催: NPO法人エコロジー夢企画・大曽根の湿地ビオトープを守る会
後援: 八潮市 協力: 国土交通省江戸川河川事務所
この事業は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

河川基金

足立区と八潮市と草加市の県境にある「大曽根ビオトープ」を知っていますか?

1995年に足立区の市民団体「せせらぎグループ」が買収した1ヘクタールの自然地区。かつての農業所有の地であった。そして、1995年までの10年間、河川事務所と協働して、砂利川の浄化対策として、この地を買い取って「せせらぎ」ビオトープにすることを決意。3年後に買収が完了、(国)と八潮市と足立区と市民が話し合ってきたのが「大曽根ビオトープ」です。地域の足立区(桑袋ビオトープ公園)と八潮市(大曽根)と草加市(大曽根)とが協力して、この地を「せせらぎ」グループが「せせらぎ」グループとしてこの地域の生物多様性を高め、親子観察会「エコロジー」を毎年行ってきました。一方、八潮市には「大曽根の湿地ビオトープを守る会」が誕生し、保護や管理も行っています。

しかし、売却から10年経ちながら、長年の泥の堆積で池が浅くなり、魚の種類も少なく、なってしまう。この状況を改善するため、毎年つづいてこのグループの活動が、かき取りを行うことになった。船内を中心にかき取りによる水辺再生に取り組む認定NPO法人生態工房(協力)が、11月3日(水・祝)に大曽根の湿地をめぐって「かいぼり」体験を行います。

池を再生するための「かいぼり」体験してみませんか。
足立区、埼玉県、八潮市、草加市、大曽根の再生を手伝って来てください!

参加申し込み方法 小学生は4年生以上、保護者同伴のこと **第一次締切 9月15日**

どの地域にお住まいの方も参加できますが、コロナ予防対策及び保険加入のため申し込みが必要です。必要事項を記入の上、FAX 又はメールでご連絡ください。事前学習会は、定員60名ですが、11月3日参加者は優先受付させていただきます。

	氏名: 9月20日(月・祝) 申込み	氏名: 11月3日(水・祝) 申込み
氏名	() ()	() ()
住所		
連絡先		
電話		
Email		

9月20日持ち物: スリッパ・靴を入れる袋、マスクの着用をお願いします。
11月3日服装・持ち物: 飲み物、食料・乾き物、帽子、着替え、長靴、はき替え用の靴、長靴をお持ちの方は短靴、マスクの着用をお願いします。

草加市記念体育館 ※駐車場はありません
「国体」駅(1番)のりばから「花畑公園」駅までの経路で「草加市記念体育館」バス停

大曽根ビオトープ ※駐車場はありません
千代田線(緑丸線)から八潮駅北口行バス(関越)下車2分

申込先事務局: NPO 法人エコロジー夢企画
FAX: 03-3886-6554 Email: info@ecoyume.net
https://www.ecoyume.net 当日携帯 090-2905-6754

かいぼり最終締切 10月24日

5/40

かいぼり事前学習会

9月20日(月・祝) 14:00~16:00

草加市総合体育館 第1・2会議室

参加者 合計35名

- 14:00 開会あいさつ...司会 水越雅子
NPO 法人エコロジー夢企画 三井理事長
大曽根の湿地ビオトープを守る会 戸高会長
参加者紹介...国土交通省江戸川河川事務所環境課 菊地氏
八潮市役所 リサイクル環境課
講師紹介...認定NPO 法人生態工房 理事長 片岡友美氏
- 14:15 大曽根ビオトープの成り立ち説明...三井
- 14:30 生態工房「かいぼりってなぜやるの?」
- 15:45 閉会挨拶...三井
- 16:00 解散

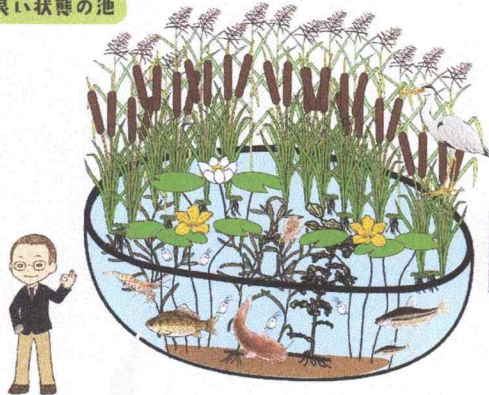


6/40

なぜかいぼりが必要なの？

水草が消え、池の調和がくずれると

良い状態の池

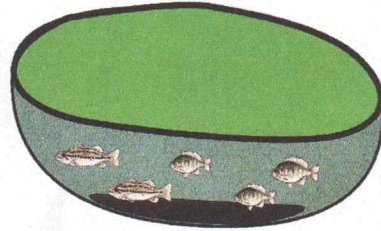


水草がなくなり、
外来種が入ると

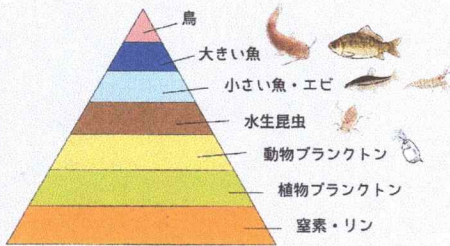
調和がくずれた池

水草なし＝隠れ家なし＝アオコと外来種が中心

生きものの種類が少ない、**単調**な池に。



生きものたちの量を図で表すと、
ピラミッド型になります。



調和がくずれると
ピラミッドが不安定になります。



23

認定NPO法人生態工房資料より

7/40

単調になってしまった池を
復活させる切り札
それが**かいぼり**です



かいぼり＝極い掘り 「極く」＝ひたひた、引きよめる、極めるなど

かいぼりは、ため池を良い状態で保ち続けるための管理作業のひとつです。

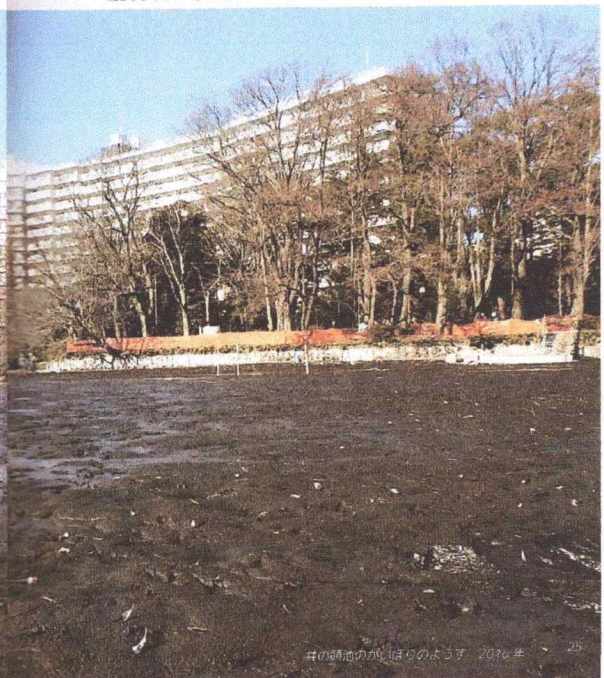
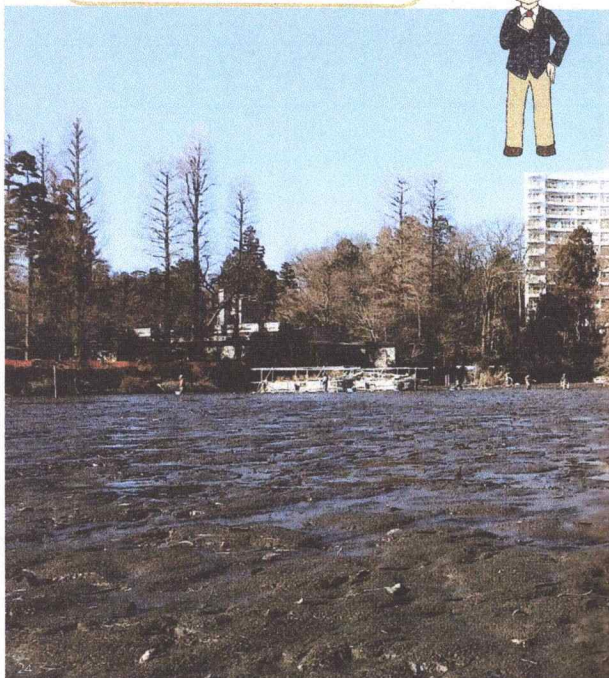
池の水を掻き、池底の泥を掻き、魚をつかまえます。

泥を掻くことにより、池が浅くなってしまふのを防ぎ、池に貯められる水の量を確保します。

池の底にヘドロが溜まり水質が悪くなることも防ぎます。

池底から湧いた土は、窒素やリンなど野菜を育てる上で重要な栄養がたくさん含まれているので、昔は畑の肥料として使いました。また、池からとった魚を、昔は食料としました。

魚をとることで、池の生きものたちの関係が悪くなることも防いでいました。



井の頭池の「かいぼり」の様子 2012年

25

認定NPO法人生態工房資料より

8/40

かいぼり隊

大曽根ビオトープ

11月3日(水・祝)9:00開会 (受付8:30～)

かいぼり隊に参加申し込みいただきありがとうございます。

大曽根ビオトープは、綾瀬川と魚道でつながっている池があるので干満の差があります。

今回の作業では、引き潮を利用してみんなで水の流れる道(みお筋)を作ります。3日の引き潮ピークは、10:45分位です。

そこで、9:00には開会し、すぐ作業に入りたいので、8:30には受付を開始します。

参加したい作業チームを選んで申し込んで下さい。

11:00ごろに交代をしますので、作業を変えたい場合は、交代できます。

みお筋づくりチーム (赤の腕章配ります)

池の中を歩いてみず道を作り、泥をかき出します。

途中お魚を見つけたら捕獲して展示用ブースに届けます。

① 服装: 胴長(ウエストでベルトをすること)又は、長靴(はきこみをガムテープで塞ぎます)

② 軍手

③ 長袖: 着替え持つこと ★バケツや網は貸し出します。

ころころマシンチーム (緑の腕章配ります)

手作りした道具を使って、地上から綱引きをして、みお筋をつけます。

① 長靴またはブツ靴 (履き替え用靴ももつこと)

② 軍手

③ 長袖・長ズボン

見 学 (自由) 申込み不要

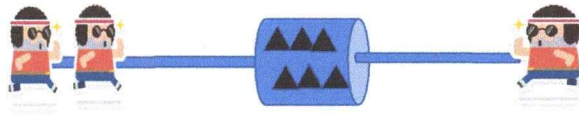
土手からかいぼり見学・魚展示コーナー見学

作業チームが動きやすいように土手上から

見学しましょう。



みお筋づくりイメージ



大曽根守る会オリジナル ころころマシン

9/40

8:00 スタッフ集合 かいぼり本番スケジュール

- ① 受付テント、机、イス…。エコ夢(水越・梅澤・柴崎)
- ② 魚展示用長机、水槽2つ、エアーポンプ3つ、ファンシーケース等用意
魚採取係…エコ夢(戸井田)+(矢澤)
魚解説係…オリザネット(斎藤氏・古谷氏)

- ① かいぼり隊指揮…片岡さん、佐藤さん
- ② 水道栓の用意…長いホース(戸高)・着替え用テント(エコ夢)
- ③ 記録係: DVD(井坂)、写真(エコ夢大熊・守る会高橋)

8:30 受付開始

- ① 名簿チェック、検温、消毒、マスク
- ② 整列、グループ分け、腕章渡す (注意: ソーシャルディスタンス)
- ③ 服装チェック(胴長にベルト)、ガムテープで長靴はき込みを巻く。

9:00 開会あいさつ …司会: 水越雅子

- ① エコロジー夢企画理事長・大曽根ビオトープ会長あいさつ
- ② 来賓あいさつ 国土交通省江戸川河川事務所、八潮市リサイクル環境課
- ③ 魚解説チーム紹介: NPO法人オリザネット(古谷氏・斎藤氏)
- ④ 参加者 グループ紹介・人数が多い場合はカット

9:15 溝筋づくり開始 2チームに分かれて活動開始

- ① 溝筋づくりチーム 指導チーフ: 片岡
- ② 「ころころマシン」チーム 指導チーフ: 荻原
11:00休憩、役割交代したい人は入れ替わって再度、作業開始
見学者向け水槽展示(横土手上)
・ビオトープにいる魚や水生生物を水槽展示する。
・前日に魚キラー等を仕掛け、当日朝に回収して生き物を確保する。
・かいぼりで捕れた生き物も追加する。

12:00 一般参加者は作業終了、手足洗う。着替え

12:15 閉会式

12:30～13:30 昼食休憩 (各自用意)

13:30 「関係者」は潮位次第で作業再開 →一般参加希望者は午後も参加可能
洗い物や片付け作業もこの時間内でやる。

15:30 反省会 16:00 解散



10月17日(日) 11:00～ **打合せ** 大曽根守る会戸高会長宅
打合せ;大曽根守る会会長、エコ夢理事長

11月 2日(土) 9:00～13:00 **前日準備**
大曽根守る会、生態工房、エコ夢 計15名

さあ、いよいよ明日が本番！

- ・前日に機材持ち込み。
- ・底泥を測り、本番に向けてみお筋を付けておくことになった。
- ・ころころマシンも試行錯誤したが、うまくいくかどうか心配だ。



11/40

11月3日(日)8:30～16:00 **かいぼり隊**

いよいよ本番！

大曽根守る会、生態工房、エコ夢、江戸川河川事務所2名、
八潮市役所3名、一般参加者 合計69名
(八潮市民 22、足立区民 18、他 29名)

- ・八潮市リサイクル環境課が、胴長(M/L)15、長手袋15、軍手、
飲み物(3カートン)用意してくださって、部長も視察に来られた。
- ・7月のしがら棚に参加した中学生も2名参加
- ・魚解説チーム 3名
- ・救命・安全監視員 1名
- ・足立パドラーズ カヌー 一艇
- ・メディア:JCOM足立 東武よみうり新聞



集合した精鋭たち 69名

12/40

みお筋つくりチームの活躍

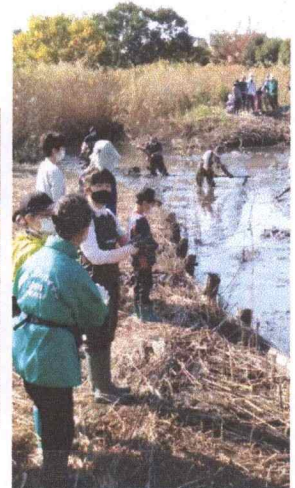


ジョレンで泥をかきだして、桶に入れて本流へ出していきます。
最後は桶でスクーターをするようにみお筋を付けていきました。



13/40

ころころマシンチームの活躍



ロープにこれらのオリジナルころころを
つけて引っ張り、みお筋をつけました

14/40

11月3日(日) 魚調査チームの活躍



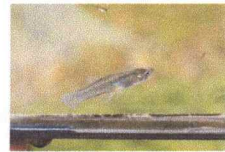
前日に仕掛けておいた網に
たくさんの生き物がかかっていました
指導: 古谷愛子・斉藤光明・中島 望
(NPO 法人オリザネット)



モクズガニ



ヌマチチブ



モツゴ



クロベンケイガニ



うなぎ1



うなぎ2



ドブガイ



ヒメタニシ



ゴカイ



ヌマエビ類



スジエビ



テナガエビ



生き物大すぎ!



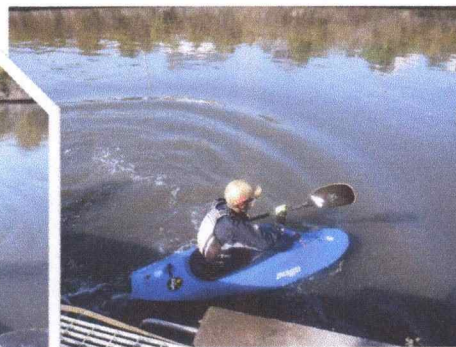
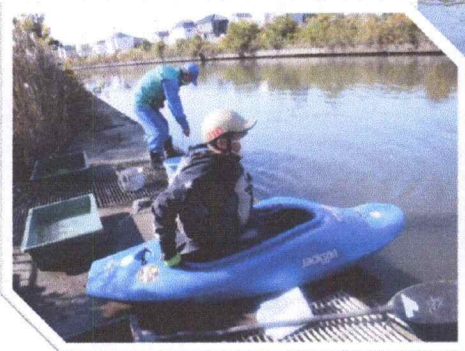
ミシシッピーアカミガメ



15/40

11月3日(日) カヌーでごみ拾い

足立パドラーズの面々が本川のごみ拾いを行いました
ゴミは翌日、八潮市が処分してくれました。



各種パネル展示



16/40

11月13日(土)

大曽根ビオトープ昆虫調査

10:00~15:00

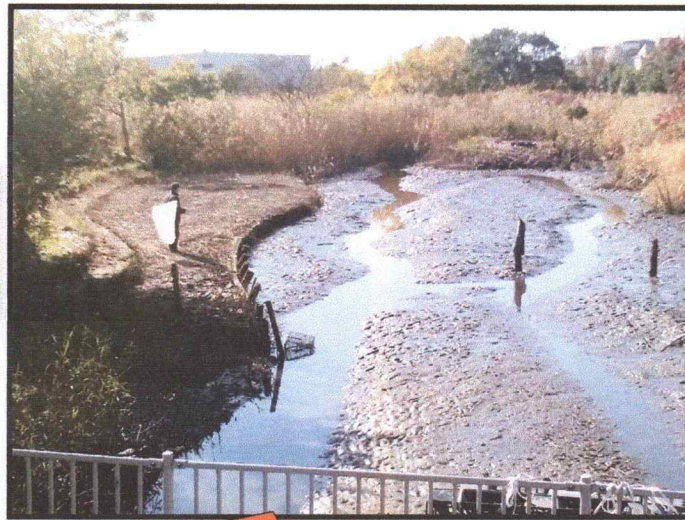
講師:土岐秀則・エコ夢(三井)



アオクサヘリカメムシ



コバネイナゴ



10日後、しっかり みお筋がついていました!



投網をしたらボラがたくさん



ジョウビタキ



コバネササキリ



シロオビノメイガ



ジョロウグモ

17/40

昆虫調査

11月13日(日)

2021.11.13(土)

調査員:三井、土岐

晴

目	科	種名	備考
トンボ	トンボ	アキアカネ	2♂♂7♀♀(連結2含む)
バッタ	コオロギ	ミツカドコオロギ	1♂ 鳴き声
	カネタタキ	カネタタキ	2♂♂ 鳴き声
	オンブバッタ	オンブバッタ	4♂♂5♀♀
	バッタ	コバネイナゴ	1♂3♀♀(1♂撮影)
	キリギリス	コバネササキリ	1♂1♀(撮影)
	キリギリス	クビキリギリス	幼虫1♀(褐色型)
カメムシ	カメムシ	アオクサカメムシ	4♂♂、幼虫10exs.
	マダラナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	>10exs.
	マダラナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	>10exs. カントウヨメナ訪花
	ヒメヘリカメムシ	ブチヒゲヘリカメムシ	1ex.
	ヨコバイ	オオヨコバイ	多数
ハエ	カ	ヒトスジシマカ	>10♀♀
	クロバエ	オオクロバエ	1♂
	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	1ex.
	ハナアブ	ミナミヒメヒラタアブ	>10exs.
ハチ	ハバチ	ハグロハバチ	幼虫1ex.
	ミツバチ	セイヨウミツバチ	>10exs. コセンダングサ訪花
	アリ	クロヤマアリ	>10exs.
コウチュウ	ゾウムシ	アルファルファタコゾウムシ	1ex.
チョウ	シャクガ	ウスミドリナミシャク	2exs.
	ツトガ	シロオビノメイガ	>10exs.
	セセリチョウ	チャバネセセリ	1ex.
	シロチョウ	モンシロチョウ	>10exs.
	シロチョウ	モンキチョウ	8♂♂15♀♀
	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	1♂
	シジミチョウ	ウラナミシジミ	1♂2♀♀ コセンダングサ訪花
	シジミチョウ	ヤマトシジミ	5♂♂2♀♀
	シジミチョウ	ベニシジミ	8exs.
クモ	ジョロウグモ	ジョロウグモ	1♀
	コモリグモ	ウツキコモリグモ	多数

18/40

報 道

- ①東武よみうり新聞
2021年11月22日(月)

[②公益財団法人 河川財団 | 河川基金 | 助成事業者からのお知らせ | 綾瀬川大曽根ビオトープのかいぼり隊 \(kasen.or.jp\)](#) 202101210

- ③ Jcom足立
11月5日から一週間
かいぼりの様子が
放映されました

- ④ You Tube で動画配信
<https://ecoyume.net/2679>

19/40

- ③You Tube で動画配信
<https://ecoyume.net/2679>

DVD もくじ

1. 作戦会議
2. 事前説明会
3. かいぼり当日
4. みお筋チーム
5. ころころチーム
6. 理事長インタビュー
7. 魚展示コーナー
8. 閉会式

DVD (14分52秒)

20/40

なぜ、大曽根ビオトープができたのか？

「せせらぎグループ」は足立区消費者グループとして、1986年に生活クラブ協同組合足立支部の有志が立ち上げ、せっけん問題や全国河川の水質調査に加わって研究し、小学校や地域でこどもたちに教えていた。1996年、綾瀬川の八潮市御立野跡に、多自然川づくりにふさわしい自然地を発見したことから、本川との比較調査を行い「綾瀬川下流浄化対策に関する提言書」を国土交通省江戸川河川事務所および綾瀬川清流ルネッサンス21協議会に提出した。

主婦4人のメンバーが、多くの仲間の手を借りて調査し書き上げた提言書は、1.2haの土地の買収と県境を越えた2つの浄化施設建設の地域戦略プランにまで発展し、八潮市大曽根ビオトープと足立区桑袋ビオトープ公園が完成した。

水質調査



荒川で調査(7年間 毎月1回調査)

環境教育



2008年9月 韓国からの見学者受け入れ



2008年8月 韓国川の日ワークショップで発表

展示



綾瀬川クリーンキャンペーン

足立区消費者展
1986年～2009年



発表



綾瀬川浄化提言と
保全活動を発表

World City Water Forum 2009

21/40

綾瀬川起点の碑から東京湾まで

(江戸川河川事務所HP より)



綾瀬川起点は農業用水の
落し水から始まっている。



内匠橋から下流は東京都の管理で
殺風景な護岸が続いている



※2017年時点

0 1 2 3 4 5 10km

22/40

綾瀬川浄化対策提言活動

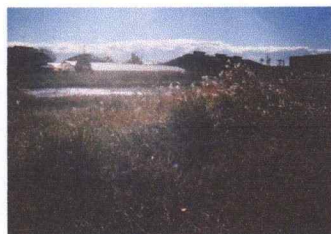
1) 自然地発見

全国一級河川水質汚濁ワースト1の綾瀬川の浄化を進めるには、自然の浄化力を活用した 直接浄化施設がいずれ複数必要になる。平成7年(1995)10月、せせらぎグループがコンクリート護岸の続く綾瀬川下流部で、設置の可能性のある敷地を調査した。その結果、八潮市に綾瀬川と隣接した湿地を発見。法務局で調べると1.2hの民有地であることがかった。近くに「御立野跡」という地名があったことから八潮市郷土博物館の遠藤さんに伺ったところ、このあたり一面が江戸城の茅場の御用地だったという。明暦の大火で茅葺屋根が禁止となり、払い下げられた入会地だったそうだ。その後、足立区にあった帝国機材というレンガ会社が、第2工場を建てるために橋を架けて、ここで操業していた。江戸時代にはその同じ場所に将軍が鷹狩りに使う「御成橋」がかかっていたという。湿地の上流には馬頭観音がひっそりと立っていた。

2) 自然地を直接浄化施設にすることを提案

平成7年(1995)11月12日、日本の水をきれいにする会主催の「綾瀬川保全研修会」でせせらぎグループの活動発表する機会があったので、八潮市御立野跡に発見した自然地を保全することを提案。参加していた国、足立区、学識と共に生物調査をすることを約束し、11月15日に実施することができた。地先の綾瀬川三川合流地点は、綾瀬川の中でも最も水質がく(流入する伝右川は、BOD 180mg/l~46mg/l)水生生物ゼロの地点であるにもかかわらず、湿地の池の中は溶存酸素の値が高く、ドジョウ(6)、カダヤシ(32)、ヤゴ(20)、ザリガニ(16)が採取され、ヒドリガモ、オナガガモ(計20)カイツブリ(2)、ホシハジロ(50)、ウミネコ(2)、ハクセキレイ(1)と野鳥の楽園のようだった。

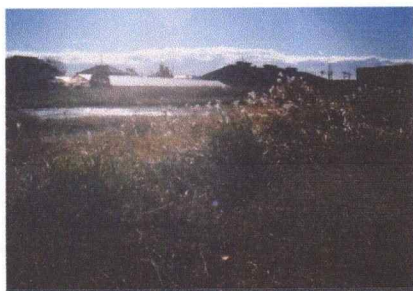
江戸川河川事務所では、浚渫工事の度にこの土地を半分借りて土砂置き場にしていた場所であり、足立区も野鳥の観察地点としていつも調査していた池であったが、直接浄化のために利用するという発想はなかったという。



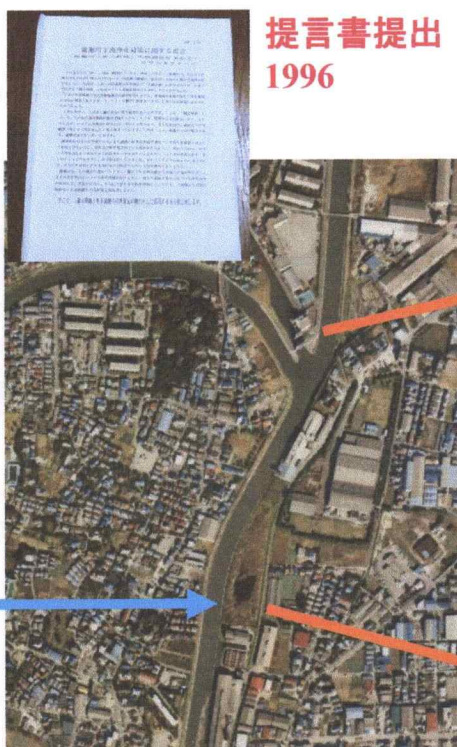
23/40

浄化施設のための土地を探す

大曽根の湿地(御立野跡)発見
1995



提言書提出
1996



↑ 綾瀬川



足立区桑袋ビオトープ公園完成
2005



大曽根ビオトープ完成 2007

せせらぎグループの綾瀬川浄化施設提言



もしこの土地を買い手ができたら、川の自然再生ができるでしょう

step1: 綾瀬川の水をポンプアップして池に流し入れるだけでも水質浄化に役立ちます

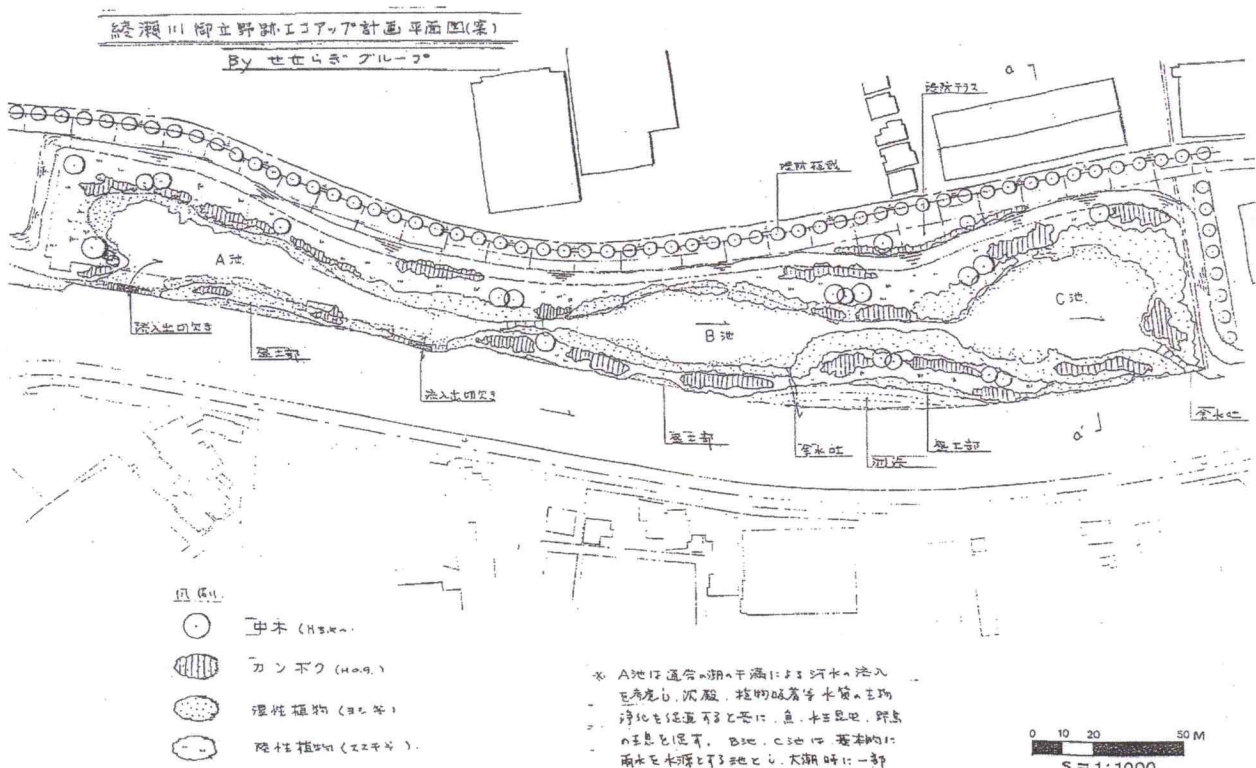
step2: 護岸を切り込んで川の水を池に入れるようにすれば、魚が住み着く事ができます

step3: 隣地も買うことができれば、地下に礫間浄化施設を作って上部をビオトープにすると2倍の広さのビオトープを作ることができます

step4: もし人道橋を作ることができれば、歴史の散歩道を作ることができ、八潮市と足立区との交流が生まれます。

25/40

綾瀬川浄化施設提言に添付した図案



26/40

3) 綾瀬川、浄化提案書を「綾瀬川清流ルネッサンス21協議会」に提出

企業所有地であったこの土地の買取りと整備方法について、11月15日の水質・生物の調査結果と、山道アトリエの山道省三さんが書いてくれた保全計画案の図を添付して、平成8年1月、提言書としてまとめ江戸川河川事務所と綾瀬川清流ルネッサンス21協議会に提出した。国土交通省の河川計画課長にも見に来ていただいたところ、下流はずっとコンクリート護岸が続いているので、下流部で自然再生するには、ここを買い取っておかなければ将来はない」との感想をいただき、動いてくれた。

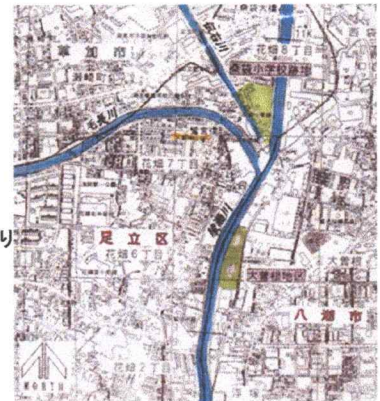
4) 国によるトラスト 平成11年3月 7億8千万円で買取成功！

国土交通省と足立区・八潮市と共に、数年にわたって要望運動をした結果、平成10年補正予算が付いて、国が土地を買うことになった。この時、地主説得に協力する為、せせらぎグループから呼びかけて綾瀬川流域の市民団体(7団体と5個人)の署名をいただき、江戸川河川事務所に提出した。平成11年12月ついに土地の買い取りが成功した。5億くらいとみていたが、なんと宅地であったため開発も可能であったらしい。約7億8000万円で買取が成立した。国によるトラストである。提言から買取まで実に3年かかってしまった。本省が粘り強く財務省に掛け合ったおかげであった。が、この間に隣地の工場は建て直してしまったので、隙間浄化施設の用地がなくなった。

5) 平成11年5月4日 「地域戦略プラン」に助成申請

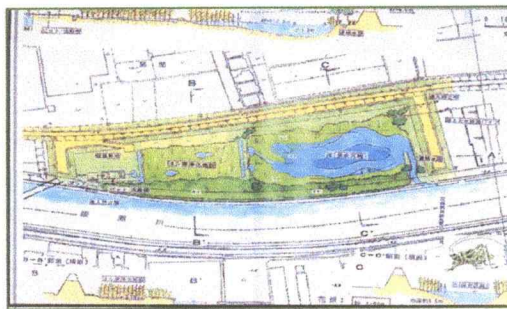
平成11年6月10日 5年間で61億円の事業費が採択される

その頃は、バブルがはじけて経済低迷期にあった。そこで、小淵恵三首相が経済活性化のために「地域戦略プラン」助成事業を募集した。県境で実施したら地域が活性化するというプランを募集していたのである。そこで、江戸川河川事務所の指導のもと、足立区と八潮市から「地域戦略プラン」に応募した。土台になったのはせせらぎグループが提出した提言書だった。廃校になった桑袋小学校に隙間浄化施設を作ることになっていたの、まさに県境の提案となり優先順位が高かったらしい。すぐに採択され、61億円の予算が付いたのである。そこには、せせらぎグループ提案の人道橋のプランも入っていた。しかし、2つのビオトープ建設で5年が経過し、61億円は使い切れなかった。八潮市と足立区を繋ぐ人道橋は、住民要望が高いとして、報告書には課題として残してある。



27/40

6) 大曽根ビオトープ第1期工事進む—水ガキの出現—



自然地の復元に挑戦する為丁寧な工事が行われた



平成13年(2001)初夏、大池の水を一度浚って堤防を厚くし、下流側の大池に魚道をつける第1期工事がおこなわれた。地元で誕生した「大曽根の湿地・ビオトープを守る会」が、この池にいた魚の里親を引き受け、工事完成後に放流。魚道はハーフコーン型魚道(写真)で、干満の差を利用して、潮が満ちてくるときに魚道から川の水が池に入り、潮が引く時には出ていく。その時に酸素が豊富な表層の水だけを動かすので、池と綾瀬川の両方の水の浄化に役立つというものだった。

9月の君塚義輝氏(淡水魚研究者)の調査では、当時の綾瀬川では初出現と見られるマルタ(写真3)を始め、90mmもあるモツゴやボラ、ハス、シモフリマハゼなどが採取され、以前の池より魚種も魚数も大幅に増えていることがわかった。そればかりか、今年6月には、近隣の中学生が、水着に着替えて泳いでいた。まさに「水ガキ」の出現である。ところが、すぐに教育委員会の知るところとなり、遊泳禁止になってしまった。むしろ魚調査に誘って、一緒にビオトープを見守っていく仲間になってほしかった。



ハーフコーン型魚道と内部



綾瀬川初出現のマルタ



完成後の八潮市側の第1池に水ガキ出現

28/40

7) 2007年 大曽根ビオトープ第2期工事完了



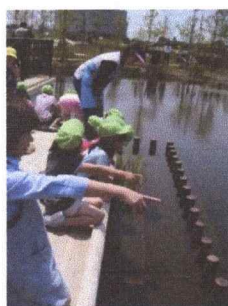
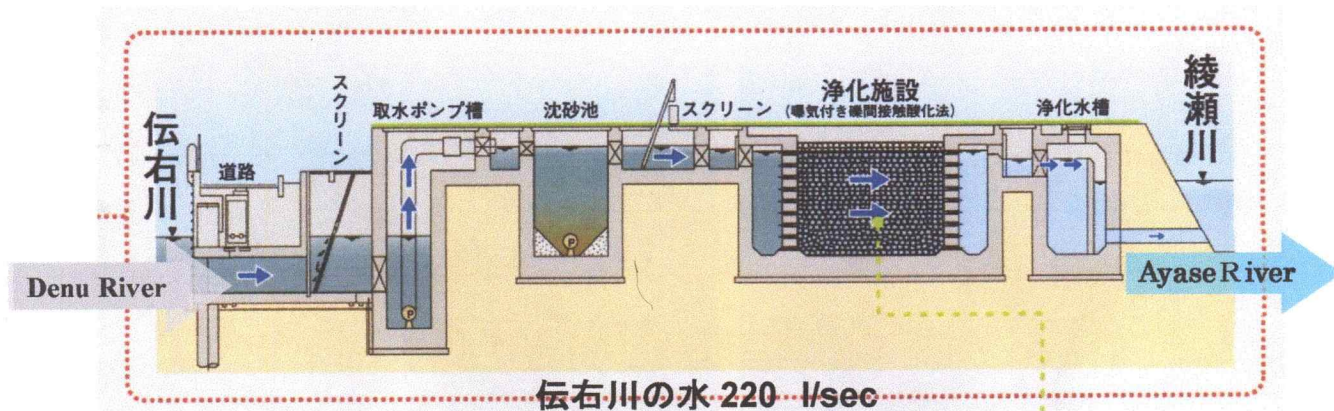
29/40

8) 2005年足立区桑袋ビオトープ公園完成



30/40

9) 桑袋浄化施設の仕組み



カワセミは県境を越え、2つのビオトープを往ったり来たり



バンやカイツブリが営巣を始めた



31/40

綾瀬川清流ルネッサンス21計画の成果となる

平成7年度～平成12年度

国と関係自治体は、綾瀬川清流ルネッサンス21計画を立て平成7年から12年まで下水道や浄化施設等の整備をしてきた。その結果、昭和61年に比べ、平成12年には水質が3分の1まできれいになりました。そうは言っても、平成13年の全国ワースト1はまた綾瀬川でした。そこで 国と関係自治体は引き続き「綾瀬川清流ルネッサンス21Ⅱ」を策定して、綾瀬川と支川の水環境改善に取り組むことになりました。せせらぎグループが取り組んできた八潮市大曾根にあるビオトープ計画、桑袋小学校跡地で工事の始まった桑袋浄化施設・桑袋ビオトープ公園もその浄化対策の1つです。

• 水量： $0.02\text{m}^3/\text{秒}=1.728\text{m}^3/\text{日}$

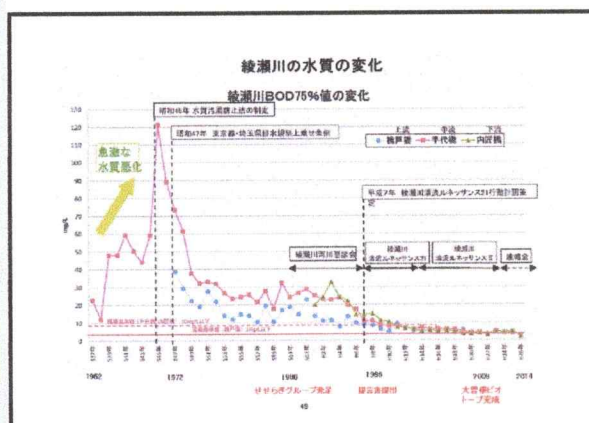
・水質：伝右川の水質 BOD 7.5% 浄化
平均 BOD 10PPM (75% 浄化)

垂筋別：最小値 3 PPM～最大値 23 PPM

伝右川の汚れが
こんなにきれいに！

年 月	低右川	浄化水
平成 11 年度		
4 月 13 日	77	19
8 月 10 日	11	3
10 月 6 日	50	13
1 月 19 日	37	9
平成 12 年度		
4 月 18 日	39	10
7 月 13 日	27	7
10 月 12 日	92	23
1 月 23 日	27	9

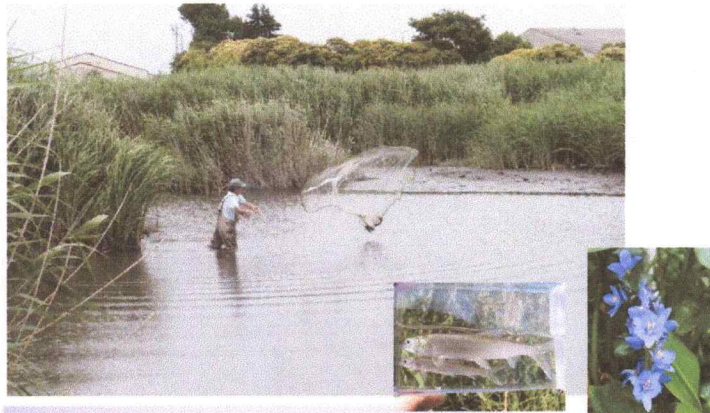
図表4 水質浄化施設 浄化計画



2003年 NPO法人エコロジー夢企画を設立

せせらぎグループの活動を引き継いで2つのビオトープの生物生息調査を継続

(2003, 2007, 2009年)



2003年「足立区環境デジタルマップ」制作
2009年「綾瀬川大曽根ビオトープ・桑袋ビオトープ周辺ガイドブック」完成

33/40

「エコ夢探検隊」 八潮市 大曽根のビオトープ

2003年から毎年2回、親子参加で綾瀬川の昆虫と魚調べてきたが、近年はヘドロ臭がひどくてぬめって、池にこどもを入れられなくなった



34/40

綾瀬川のアユ遡上調査とエコ夢探検隊

岩槻区大井の農業堰下流で定点調査

アユが解禁になる6月より前に閉まる農業堰なので、東京湾から遡上してきたアユが滞留する場所として大井堰下流を6月の定点観測地点で2年間調査。

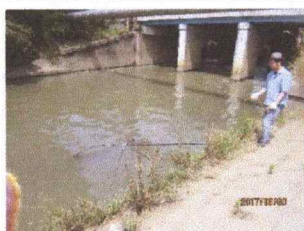
6月3日(土)8:00~16:00 快晴 21℃ 岩槻区加倉 大橋井堰下流

2016年 稚アユ 7匹
2017年 稚アユ 54匹！採取
2018年 稚アユ 151匹！

すくい網による採集 種別合計		四つ手による採集 種別合計		投網による採集 種別合計		総合計	
種名	数	種名	数	個体	数	種名	数
ウキゴリ	10	アユ	52			アユ	54
アユ	2	ウキゴリ	78			ウキゴリ	88
カワリヌマエビ	2	カワリヌマエビ	24			カワリヌマエビ	26
		ボラ	18			ボラ	18
		コイ稚	7			コイ稚	7
		スズキ	5			スズキ	5
		マハゼ	2			マハゼ	2
		モツゴ	2			モツゴ	2
		オイカワ	1			オイカワ	1
		スゴモロコ	1			スゴモロコ	1
		タイリクバラタナゴ	1			タイリクバラタナゴ	1
	14		191				205



足立区コミュニティTV
働CANのメンバーと調査



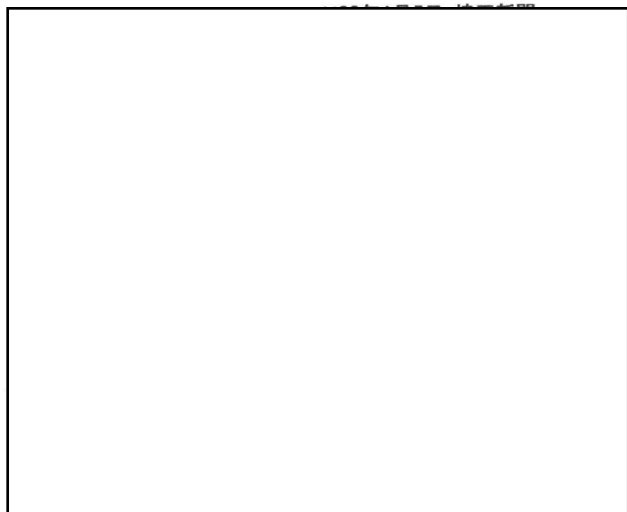
未来大学4年生も参加



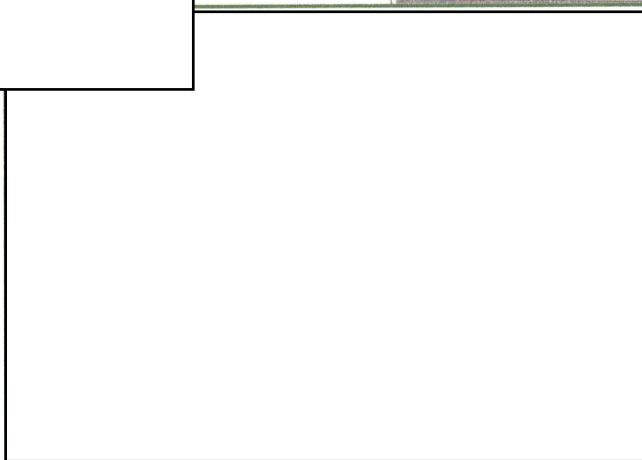
35/40

平成29年 6月19日埼玉新聞

平成29年16月5日埼玉新聞



平成29年10月31日埼玉新聞



36/40

エコ夢探検2017

Eボートで綾瀬川へいこう！

11月18日(土)13:00~17:00



エコロジー夢企画では2014年から綾瀬川で、アユの調査を行っています。その結果、6月には54匹の稚アユを採取しました。綾瀬川にもついにアユがのぼってきていることが分かったのです。そこで昨年Eボートで綾瀬川をのぼってみたら、明治のころから使われていた玉石積み護岸が桑袋ビオトープ公園のすぐ下流に残っていることも発見できました。災害時の避難にも使われているEボートに一度試乗してみませんか？



土岐秀則先生(埼玉昆虫談話会)と昆虫調査 金澤光先生(埼玉県環境科学国際センター)と魚調査

参加費:ひとり 500円 (保険料含)

主催: NPO法人エコロジー夢企画
 後援予定: 足立区・足立区教育委員会・八潮市教育委員会
 協力: 国土交通省江戸川河川事務所・(株)CAN
 NPO法人地域交流センター
 年間協賛: あたち女性農業交流会風大地・綾芝園開発
 ㈱ミテック NPO法人M・U・M
 ※この事業は足立区環境基金の助成を受けています

37/40

2018年 親子調査「エコ夢探検隊」

アユ目線で綾瀬川を登ろう！

1)エコ夢探検隊part1 6月2日(土) 足立区のこどもたちとバス見学会

岩槻で稚アユ調査見学

草加市で市民団体と交流



東京湾から登ってきたアユ

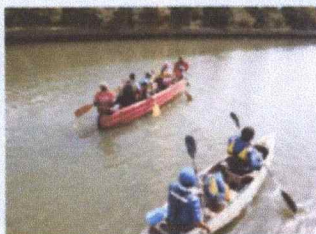


カヌーでゴミ拾い体験



2)エコ夢探検隊part2 10月20日(土)

足立区桑袋ビオトープ公園の上下流を川側から観察するためEボートに乗船して移動する。魚の調査、昆虫調査をこどもたちと行い、アユが登ってきている綾瀬川をどのように守っていくかを考えた。しかしこの日、大曽根ビオトープの池では、マハゼ1、ヌマチチブ2しか採取できず、池の泥の堆積が深刻となっていた。



38/40

綾瀬川は観光舟運のメッカだった

江戸時代、綾瀬川は風光明媚でねむの花が咲くころには、隅田川から多くの花見客が舟で綾瀬川に来ていたという。和歌に多く詠まれ、絵画も多く残っている。

しかし、明治の終わりの荒川放水路建設によって隅田川と分断され観光舟運は途絶えた。その後、地盤沈下による水害から守るため、綾瀬川下流は東京都によって何度もコンクリート護岸が積み足しされて景観と自然を損ねてきたが、2019年の台風19号の脅威から、2022年の今もさらに護岸を強固にする耐震補強工事が続いている。

人々の憩いや散策の楽しみを加味した工事はできないものだろうか？
「川が環境が良くなれば文化が生まれる、文化が育てば環境が良くなる」と信じて綾瀬川下流の自然再生活動を続けていきたい。



「鐘ヶ淵」 歌川広重

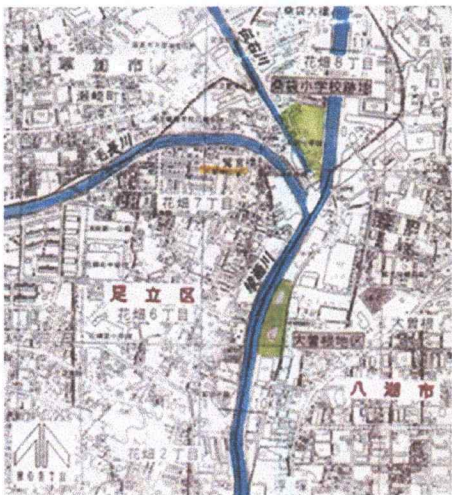
ほの見えしうすくれないのひと村は
綾瀬の岸のねぶの花かも
江戸名所和歌集 加藤千蔭



2004年 綾瀬川伊藤谷橋から



2022年 綾瀬川伊藤谷橋から

助成番号		助成事業名	所属・助成事業者氏名			
2021-6111-016		綾瀬川と大曽根ビオトープの再生	理事長 三井 元子			
	主な実施箇所	河口から 10km 地点の八潮市大曽根地先				
助成事業の主な実施箇所	綾瀬川・伝右川・毛長川の合流地点の三川合流地点の下流、左岸の大曽根地先。 綾瀬川河口から 10 km。   ※シンポジウムや講演会等は、会場の名称を記載してください。 事前学習会会場：草加市総合体育館会議室 1・2 ※冊子の作成等の場合は団体の所在地を記載してください。					
	遠景		近景			
河川基金ロゴ等表示状況写真						
延べ参加人数 163 名	一般		44 名	スタッフ・事務局 11 名		
マスコミの反響	東武よみうり、Jcom 足立で放送					